

# 図書館ひろば



## 第2回「図書館ひろば・夏

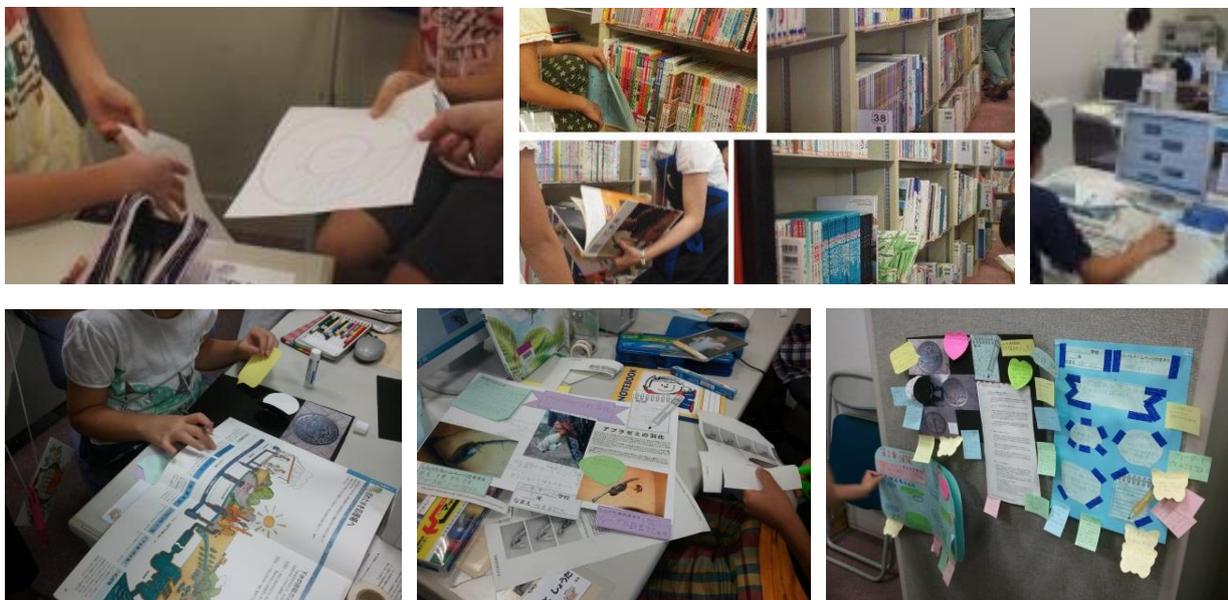
### ～ネットと本で調べ学習体験講座～」開催！

2013年8月11日（日）橋本図書館・研修室にて「図書館で調べるっておもしろい！ ネットと本で調べ学習体験講座」が開かれました。広報さがみはらで募集したところ、1週間しないうちに定員に達しました。これは橋本図書館、つなぐ会にとって嬉しい反応でした。

当日は、小学2年生から6年生まで12名が参加。まず講師の説明を受けた後、それぞれ調べるテーマを決めます。みんなのテーマは「電子ピアノ内部構造」「マンホールのデザイン」「昔の人の暮らし」「深海のひみつ」「あぶらぜみの羽化」「戦争と日本の基地」などなど。決まったテーマに関する情報が載っている本

を探し、ネットで検索し、必要な項目をカードに書き出します。本を探すお手伝いは、橋本図書館のスタッフがお手伝い下さいました。最後に書き出したカードを、大きな色画用紙や本の形の台紙に貼っていきます。3時間、ほとんど休憩なく、子どもたちは作業を続けました。その集中力に、大人のサポーターはビックリ。素敵な作品が出来上がりました。

お迎えに来られた保護者の方も、それぞれの作品に感想を付箋で付けて下さいました。子どもたちは「楽しかった！来年もまたやりたい！」と最高の言葉を残してくれました。



## 座間市立図書館に行きました

2013年6月19日(水)午後、座間図書館を訪問しました。昨年の藤沢図書館見学に続き、2回目の図書館見学です。(つなぐ会の参加は9名)座間市立図書館の主幹と、座間市立図書館ボランティア友の会の6名の皆様の参加を頂きました。

お互いに自己紹介と会の紹介をした後、座間市立図書館と友の会について伺いました。蔵書点検を手伝ったボランティアの中から、「座間図書館ボランティア友の会」が生まれました。活動場所は、座間図書館の地下室。除籍本、寄贈本などをリユースするという提案から現「ワンスマアブックフェア」を行っています。(当時、鶴ヶ島図書館や近江八幡図書館で、基金で積立し、本を購入して寄贈するというシステムがあるのを知って、それを参考にしたそうです。)他に、蔵書点検、友の会のメンバーと重複するメンバーでの「としょかん情報発信局」は、年3回情報発信を行っています。

その後の質疑応答では・・・

▶「図書館との日常的な繋がりは？」(つなぐ会より)

市川の図書館を見学して・・・市民が、図書館を

バックアップしていく必要があるから、この活動の意味がある、ということを確認しました。下請けではなく、一緒に活動しているという認識。生涯学習としてやりがいがあるし、友の会と図書館は、お互いパートナーとして色々な企画を共催しています。

▶「市立図書館と学校図書館の繋がりについて」  
2008年以降、全市内の学校の蔵書をコンピューター化。その情報は図書館が管理しています。学校相互の貸出もOK。放課後に移動図書館も活躍中です。

最後に、休館中の図書館内を見学させていただき、解散となりました。資料整理で休館にもかかわらず、3時間も交流に費やしていただき、座間市立図書館と友の会の皆様に感謝いたします。



## 学校図書館学習会「聞いて！学校図書館のこと」

7月20日(土)、市内の中学校図書館を会場に、学校図書館学習会「聞いて！学校図書館のこと」が開催されました。参加者はつなぐ会、図書整理員、その他、29名。

講演「中学校での学校図書館経営について」では、司書教諭から学校図書館の「読書センター」「情報センター」としての役割について、授業利用のようすなどのお話がありました。

後半の「小学校図書館実践報告」では、図書整理員が低学年・高学年図書室2部屋を運営していく工夫を報告して下さいました。その後、会場になった中学校の閲覧室、準備室を見学し、さらにテーブルごとに意見交換を行いました



現在進行中

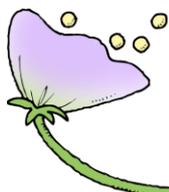
## 「さがみはら市民活動フェスタ 2013 パネル展示で参加

つなぐ会の活動が、多くの方に知ってもらえる機会になればと、「さがみはら市民活動フェスタ 2013、NPO と企業のコラボフェア」に今年初めてパネル展示で参加しました。

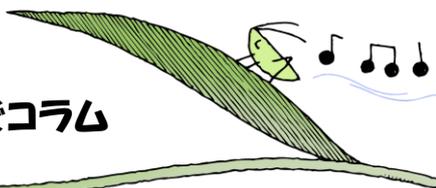
9月2日～10月14日まで、「市役所」「あじさい会館」「こち湯」をパネルが巡回します。お近くの方はぜひ足をお運びください。



つなぐ会の  
パネルはここ！



### 会員つなぐコラム



木村瀧雄さん 前編

#### 『本の宝庫(図書館)のこと』

一つの道を極めた人は、たいていの場合、本を読むことによって自分を磨いている。

アメリカ 16 代大統領になったエブラハム・リンカーンは「本は最高の友達である。そして本を貸してくれる友達は、これまた私の最高の友達である」という言葉を残している。

また一つ、貧しい木こりの小屋で生まれたリンカーンは（私の家も貧しかったが）お金がなく自分で本を買うことができなかった。

だから、彼は友人から本を借りなければ、本を読むことができなかった。本を貸してくれる友人を「最高の友人」と言った裏には、

実はかような理由があったのである。

しかし、今は違う。無数の本屋さんがあり、また無数のあらゆるジャンルの本が私達の周りにある。リンカーンの生きた時代とは違うと言えばそれまでだが、しかし、読みたい本、読むべき本は、無数にあり迷うほどだ。

今は経済的に本を買う事ができないということはない様に思う。(尤も高価な学術書や専門書は別だが) 蓋し、例え買う事ができなくてもその時は、図書館を利用すればよい。図書館は公共の施設であり、小学生から一般人まで広く開放されており、亦そこに携わる人も利用する事は大いに歓迎し喜ぶことだろう。

(次号に続く)

## 公民館図書室より

7月1日号『図書館ひろば』より、公民館にある図書室について掲載しています。今回は、ここ数ヶ月の間で利用者数や貸出冊数が大幅に伸びている津久井中央公民館図書室を視察しました。活動推進員の一人が図書室担当となり、公民館と図書室との連携強化を図っています。

### ▶ 3階にあった図書室が1階に

今年の4月から図書室が3階から1階に移動しました。場所は公民館事務室の隣にあります。図書室入口すぐには子ども向けの本を、そして奥には広いスペースに大人向けの本。何気なく目を向けた場所には図書室関連の情報や催し物の案内が掲示されています。図書室が目的でなくても公民館に立ち寄ると、その先には楽しそうな図書室の入り口。「寄ってみようかな。」と図書室に入ると、楽しい図書室ワールドに惹きつけられる工夫が凝らされています。

### ▶ 「読みたい！」気持ちにさせる

#### フェアを企画

図書室担当の公民館職員と図書室職員で、利用者が「読みたい！」と思えるような本を選びフェアを実施しています。例えば、7・8月には『「夏休み これ読み隊」フェア』、9月からは『生誕50年おめでとう「ぐりとぐら」リトル・フェア』を開催。ユーモア溢れる

ネーミングと、公民館に立ち寄った方がふっと図書室を覗いたところにはフェアの本が迎えるように並び、これも1階に移動した効果を上手に活用しています。4月以降、貸出冊数・利用者数が増加しています。1階への移動とフェアの相乗効果と思われます。

以上のように1階に移動したことで、利用者が「公民館と図書室」ではなく「公民館の図書室」へと変化していくと感じました。図書館が遠いために公民館の図書室を利用する方もいます。そのような方々にも公民館図書室ならではの魅力が伝わるようなアイデアや工夫で図書室空間が作られています。

印象的だったのは、図書室のテーブルにランドセルを置いてお気に入りの本を読んでいる学校帰りの男の子。居心地がいいのだろうなあ・・・と温かい気持ちになりました。図書室職員は、『気軽にに入れて、居心地のいい図書室』を目指しているとか。



## 編集後記

台風が去って秋が急にやってきました。今年の夏は暑かったですね。つなぐ会はその暑い夏に、たくさんの企画を行いました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。そして早くも来年2月の「第5回図書館ひろば」の打ち合わせを始めています。その報告は次号で。(Y.N)

図書館ひろば 第6号 2013年10月1日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

Email [tunagukai\\_sagamihara@yahoo.co.jp](mailto:tunagukai_sagamihara@yahoo.co.jp) ホームページ <http://279.islanz.com/wp/>